

## 八雲分屯基地で空自「即応機動訓練」を見学 U.S. Air Force observes JASDF exercise at Yakumo Sub Base

November 1, 2022

By Tech. Sgt. Joshua Edwards  
374th Airlift Wing Public Affairs

第5空軍と第515航空機動軍のメンバーは10月13日、航空機で八雲分屯基地(北海道)を訪れ、航空自衛隊の「即応機動訓練」を見学した。

航空自衛隊は訓練で、飛行場評価、移動式給油システム、展開型移動式レーダー接近管制システム、飛行場警備、指揮統制、気象評価、小型無人機システム等の手法を実践した。

今回の訓練について、航空自衛隊航空支援集団の山下健3等空佐は「本訓練は、大規模災害等により機能を喪失した飛行場等を応急的に復旧する能力を向上させることを目的としている」と説明し、「また本訓練では、隊員のマルチスキル化も念頭に置いた。特技の枠を超えて活動が可能な隊員を中心として、最小限の人員及び装備品により災害事態に柔軟に対応できる総合的な訓練を実施した」と言及した。

オブザーバーとして訓練を見学した米軍のメンバーは、航空自衛隊との二国間演習にどう備えるべきかに注目した。

第5空軍二国間演習の調整官ダニエル・スタンチン少佐は、「将来、大規模な演習で不測の事態を想定した共同対処を行う予定だ」「普段から交流を図ることで、平時や戦時の不測の事態に効果的に対処するために互いがどう補い合えるかを把握できる」と述べた。

